

龍村美術織物について

(株)高島屋

◆龍村美術織物の基礎となる、創造と復元

龍村美術織物(本社:京都市右京区)は、1894年(明治27年)創業の京都の老舗。

創業以来、すべての根底にあるのは、「創造と復元」です。

正倉院や法隆寺等に伝わる古代裂の研究・復元に関わり、芸術的価値の高い独創的な織物で広く知られています。その実力を認められ、皇太子殿下(昭和天皇)御外遊記表紙裂、昭和天皇御即位の際にも大礼記録表紙裂の製作にも携りました。

◆海外デザイナーをも魅了する唯一無二の技

海外への出展も果敢に行い、1936年(昭和11年)にはベルリンで開催された第一回国際手工業博覧会に丸帯「威毛錦」を出品し、金賞を受賞。その後も古代裂の複製をアメリカへ輸出し、1900年代半ばには、ニューヨークやワシントンなど米国の美術館において展覧会が開催されました。

また、「クリスチャン・ディオール」のためにドレス生地を制作するなど、海外のラグジュアリーブランドをも魅了する唯一無二の技として、龍村の織物は「世界」でも認められるようになりました。

◆独自の世界観のもとに様々な美を織物で表現

「唯一無二の美的感覚」と表される「龍村美術織物」の原点は「帯」ですが、近年は上質空間を演出するインテリアファブリックなど様々なジャンルの織物を、高度な技術をもって製作し、トップブランドとして活動の場を広げるとともに、現在もその高い技術と飽くなき探求心を継承しながら、独自の世界観のもとに様々な美を織物で表現することに挑戦しています。

その精神と技は、大正・昭和・平成・令和と時代を超えて、現在に受け継がれています。

【お問い合わせ】

(株)高島屋 企画宣伝部 広報・PR 担当 (担当:山川) 080-1110-2483